

第10回 技術講演会・出展技術発表会を開催しました。 (平成29年5月24・25日)

建設技術展示館において、技術者に向けた建設技術に関する情報提供を継続して実施しております。その一環として「第10回技術講演会・出展技術発表会」を開催しました。

今回は、両日で延べ223名のご参加を頂きました。

主催者を代表して、関東技術事務所の所長挨拶の後、技術講演会第1日目は、中部地方整備局 中部技術事務所(中部地震津波対策技術センター)高橋地震津波対策官による「中部地震津波対策技術センターにおける活動概要」及び九州地方整備局 九州技術事務所(九州防災・火山技術センター)堤火山防災減災課長による「九州防災・火山技術センターにおける活動概要」、2日目は、三重大学 大学院生物資源学研究科 共生環境学専攻 陳山教授による「機械設備の維持管理について」と題したご講演を頂きました。技術講演会の後、で出展者により15の技術が紹介されました。

- | | |
|---------|--|
| 1 日 時 | : 平成29年5月24日(水) 13:00~17:00・25日(木) 13:00~17:00 |
| 2 場 所 | : 関東技術事務所 建設技術展示館 |
| 3 参 加 者 | : 1日目 115名、2日目 108名 延べ 223名 |



主催者挨拶

要旨:

- 主に建設技術者の方々を対象として、建設技術や建設技術の開発・活用の取り組みについて情報を提供して、公共工事に係る技術者の知識の習得及び技術の普及を図ることを目的として開催
- 技術センターの概要について説明



高橋地震津波対策官

堤火山防災減災課長

1日目 技術講演会

要旨:

- ①南海トラフ巨大地震に備えた中部地震津波対策技術センターの取り組みについての説明
- ②火山噴火に対する国土交通省の施策及び九州地方整備局における火山噴火対応についての説明



2日目 技術講演会

要旨:

- ①機械設備の保全・診断について
- ②最新型設備診断システムの紹介



技術発表会の様子



会場の様子

出展技術発表会の内容

今回の出展技術発表会のテーマは、「河川関係、機械設備」で、第1日目は7技術、第2日目は8技術についての発表が行われました。

【1日目】

講演名	所属	氏名
中部地震津波対策技術センターにおける活動概要	中部地方整備局 中部技術事務所 (中部地震津波対策技術センター)	地震津波対策官 高橋 由典 氏
九州防災・火山技術センターにおける活動概要	九州地方整備局 九州技術事務所 (九州防災・火山技術センター)	火山防災減災課長 堤 宏徳 氏
発表技術名「副題」	出展者名	
ボンテラン工法 水分を多く含んだ泥土を再利用する技術	ボンテラン工法研究会	
FTマッドキラー工法 瞬時に「どろどろの土」を「良質な土」に変える技術	株式会社 フジタ	
万能土質改良機による建設発生土再利用システム 不良土を混合し使える土にする技術	株式会社 オクノコトー	
地中控え護岸工法 TRD工法を用いた多自然型低水護岸工法	TRD工法協会	
ジオシェルトン ジオグリッドを用いて護岸を保護する工法	三井化学産資 株式会社	
ランチブロック工法 自然・環境に調和する擁壁工	株式会社 高環境エンジニアリング (ランチブロック工法協会 事務局)	
河川堤防用ドレーン工「ドレーンロックFR型」 河川堤防内に浸透した水を排水する技術	共和ハーモテック 株式会社	

【2日目】

講演名	所属	氏名
機械設備の維持管理について	三重大学 大学院 生物資源学研究所 共生環境学専攻	教授 陳山 鵬 氏
発表技術名「副題」	出展者名	
河川用揚排水ポンプ 河川排水などに用いる各種ポンプ	一般社団法人 河川ポンプ施設技術協会	
ピーシージョイントRE-2型 既設コンクリート構造物の後付式ゴム伸縮継手	西武ポリマ化成 株式会社	
DRウォール 浸透対策ドレーン工用の法留め兼堤脚水路工	日建工学 株式会社	
インプラント堤防 鋼管杭および鋼矢板による粘り強い堤防	株式会社 技研製作所	
プレキャスト基礎工「ベースブロック」 護岸法覆工の基礎をプレキャスト化した技術	丸栄コンクリート工業 株式会社	
プレキャスト高潮堤防護岸工法 高潮堤防護岸をプレキャスト化した技術		
仮締切内部の安全管理システム 河川内工事における仮締切内部(ドライワーク)の安全を確保する技術	鹿島建設 株式会社	
C3Dによる極浅水域での3次元測深技術システム 水中状況を3次元で計測・測深する技術	株式会社 アーク・ジオ・サポート	